

MAXZEN

スポットエアコン

取扱説明書

品番 MSC-MT29-WH

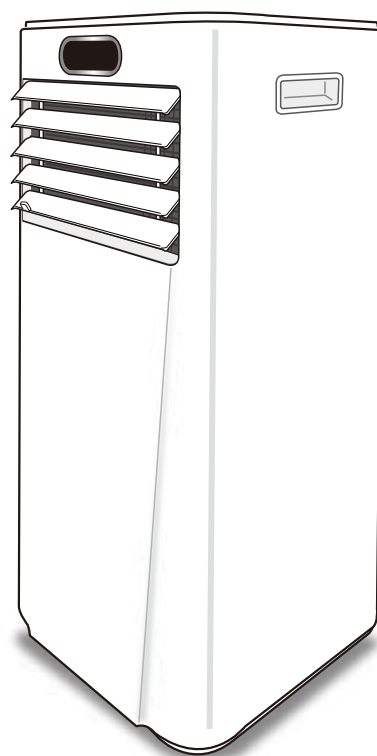
もくじ

ページ

安全上のご注意	P1~3
知っておいていただきたいこと	P4~5
コンプレッサーの保護機能に関して	P6
各部のなまえ	P7
操作パネルについて(ボタン説明)	P8
リモコンについて	P9
ご使用前に	P10~12
ドレン水を排水する	P13
アース線について	P14
運転をする	P15~17
お手入れのしかた	P18~19
保管のしかた	P19
故障かな?と思ったら	P20
エラー表記について	P21
製品仕様 / 別売品	P22
長期使用製品安全表示制度	P23
に基づく本体表示について	

日本国内専用

家庭用・屋内/準屋内用



この製品は人用のスポットエアコン(簡易冷房)です。それ以外の目的・用途には使用しないでください。
この製品は屋外では使用できません。屋内または準屋内(屋根があり、直射日光や雨が当たらない場所)でのみ使用してください。製品の故障や変形、変色の原因になります。

このたびは「スポットエアコン」をお買い上げいただきありがとうございます。
この取扱説明書は、本製品使用上の注意事項および警告事項について詳しく記載しています。本製品をご使用前には必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、内容を十分に理解されたうえで事故が起これぬように記載内容に従って正しくご使用ください。本製品は一般家庭用に開発された製品です。
事故や故障の原因になりますので、業務用としては絶対に使用しないでください。また、一度お読みになったあとも必要時にいつでも確認ができるように、すぐに取り出せる場所へ大切に保管してください。
製品改良のため、予告なしにデザイン・仕様を一部変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、安全に関する内容を記載しています。内容をよく理解して記載事項をお守りください。

警告 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

注意 人が重傷を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。

絵表示の例

 記号は、「禁止」(しないでください)を示します。

 記号は、「強制」(必ずしてください)を示します。

安全にご使用いただくために

- ①取扱説明書に記載されていない方法や、用途以外の目的でのご使用は、事故やけがの原因になります。絶対におやめください。
- ②お客様の不注意による破損・けがに対する責任は負いかねますのでご了承ください。
- ③故障していたり、故障と思われる場合は、ご使用にならないでください。
- ④取扱説明書のガイドライン、指示が守られない場合は、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ⑤本製品はおもちゃではありません。お子様のご使用は避けてください。

警告

 分解禁止	絶対に改造、分解、修理をおこなわない ●火災や感電、けがの原因になります。 ※修理はお買い上げの販売店にてご相談ください。	 ぬれた手禁止 ぬれた手で電源プラグを抜き差ししたり、操作ボタンを触らない ●感電やけがのおそれがあります。
 禁止	日本国内専用 家庭用・屋内 / 準屋内用	浴室、温室などの高温多湿の場所や、水のかかる所では使用しない ●絶縁部が劣化し、火災や感電の原因になります。
	業務用や使用目的以外に使用しない 室内のみで使用し、屋外では使用しない	 水ぬれ禁止 本体に水をかけたり、水に浸けたり、丸洗いしたり、水の入った花瓶などをのせたりは絶対にしない ●内部に浸水して火災や感電、漏電の原因になります。
	コンセントや配線器具の定格を超える使いかた（エアコン、冷蔵庫、電子レンジなどの大きな電力を使う機器と併用するたこ足配線）や交流 100V 以外では使わない ●たこ足配線などで定格を超えると発熱し、発火の原因になるとともに、接続している機器が損傷するおそれがあります。	発電機やポータブルバッテリーなどの電源は使用しない※必ず商用電源を使用する ●商用電源に対応しているため故障の原因になります。
	電源コードを束ねたまま使用したり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、重いものをのせたり、傷付けたり、高温部に近づけたり加工したり、はさみ込んだり、ステーブルなどで固定しない ●傷んだまま使用すると感電や故障・発熱・発火で火災の原因になります。	 禁止 からだの不自由な人や子供だけで使用させたり、幼児の手の届く所で使用や設置・保管はしない また、おもちゃとして絶対に使わせない ●感電やけがの原因になります。
	傷んだ電源プラグやゆるんだコンセントは使わない ●感電やショート、発火のおそれがあります。	吹出口や吸気口・給気口・排気口に、ピンや針金などの金属製の異物や指などを入れない ●内部でファンが高速回転しているため、けがのおそれがあります。
	運転中に、電源プラグを抜かない ●故障の原因になります。必ず電源を切りファンが停止してから電源プラグを抜いてください。	本体を横倒しにして設置や移動・保管をしない ●けがや事故のおそれ、コンプレッサーなどの内部不具合の原因になります。

警告

 禁止	次の場所では使用しない ・ガスレンジや石油ストーブに直接風が当たる所 ・雨や水しぶきのかかる所 ・油・ホコリ・金属粉の多い所 ・粉塵が浮遊する所 ● 燃焼器具の不完全燃焼、炎の立ち消え、引火などして火災や感電の原因になります。	 禁止	可燃性ガスが発生する場所や、たまる場所では使用しない ● 火災や故障の原因になります。
	直射日光の当たる場所や、高温になる場所に放置しない ● 故障や色あせ、熱による変形の原因になります。		煙や霧が出てくるくん煙タイプの殺虫剤を使うときは、運転をしない ● 本体内部に薬剤成分が蓄積し、その後の運転で放出されて健康を害するおそれがあります。
	風をストーブなどの燃焼器具に向けない ● 不完全燃焼や炎の飛散を引き起こし、一酸化炭素中毒や火災の原因になります。		床にワックスをするときは使用しない ● 本体内部にワックス成分が付着し、水漏れの原因になります。
	燃焼・発熱器具の周辺など熱気が当たる場所には設置しない ● 故障や変形のおそれがあります。また、冷風運転が正常に作動しない場合があります。	 必ず守る	AC100V 15A以上のコンセントを単独で使用する 【コンセントの差込口が2口以上になっていても単独で使用する】 ● 過熱による発火や火災、感電の原因になります。
	本製品の上に乗ったり、物をのせない ● 破損したり、転倒・落下によるけがの原因になります。		異常・故障時には、ただちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く ● 発煙・発火・火災・感電のおそれがあります。 〔異常例〕 ・異常な音やにおいがする ・電源プラグやアース線、電源コードが異常に熱くなる ・電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする ・使用中時々電源が切れる ・触れるとビリビリと電気を感じる ※ 修理はお買い上げの販売店にてご相談ください。
	本体にタオルや衣類、洗濯物などを掛けて乾燥用に使用したり、近くに置かない ● 可動部に絡まるなど、故障の原因になります。		電源プラグは根元まで確実に差し込む ● 感電やショート、発熱による火災の原因になります。
	本製品によりかかったり、倒したり、ぶつけたりして強い衝撃を与えない ● 故障や破損の原因になります。		電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って抜く ● コードが破損して感電、ショート、火災の原因になります。
	障害物（カーテンなど）の周囲や不安定な場所では使用しない ● 事故や転倒、故障や水漏れの原因になります。		使用後・使用時以外は、コンセントから電源プラグを抜く ● 絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。
	長時間、風を直接からだに当てたり、冷やしすぎたりしない ● 体調悪化や健康障害の原因になります。特に乳幼児やお年寄り、からだの不自由な方にはご注意ください。		電源プラグのゴミやホコリは定期的に乾いた布で取り除く ● 湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。
	可燃性ガス（掃除用・殺虫用・整髪用など）や市販のエアコン洗浄スプレーを本体に吹きつけない ● 故障や変色、製品内部の破損、排水経路の詰まりによる水漏れの原因になります。		

警告

 禁止	ダクトパネルを取り付ける場合は、必ず付属の部品を使い、重量に耐える場所に正しく取り付ける ●不完全な場合、ダクトパネルの落下によるけがの原因になります。 ダクトパネルの移動や再設置をする場合は、確実に正しく取り付ける ●不完全な場合、ダクトパネルの落下によるけがの原因になります。	 アース線接続	アース線を接続する ●接続しない場合や不完全な場合は、故障や漏電時に感電の原因になります。 【アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線などに接続しない】 詳細は 14 ページを参照
---	--	---	--

注意

 禁止	吹出口や排気口の風をさえぎったり、吸気口や給気口を塞いだりしない ●発熱・発火・故障の原因になります。		本体内部の熱交換器に手を触れない ●けがの原因になります。
	ドレンホース差込口カバーおよび排水ドレン栓は、冷風運転、ドライ運転の連続排水時以外は、取り外さない ●水漏れの原因になります。	 禁止	犬や猫などのペット用空調機器として使用しない ●ペットが本体や電源コードを傷め、火災の原因になります。 ●予期せぬ問題が発生し、ペットに害をおよぼす場合があります。
	付属の排気ダクト以外を使って排気ダクトを延長しない ●能力低下や、安全装置が作動し、運転が継続できなくなる場合があります。		毛足の長い絨毯や傷つきやすい床の上では、引きずって移動しない ●絨毯の毛足を巻き込んだり、床を傷めるおそれがあります。
	押し入れや家具のすき間など、狭い場所で使用しない ●発熱や発火、故障の原因になります。	 必ず守る	部屋を閉め切ったり、ダクトを取り付けて使用する場合、燃焼器具と一緒に運転するときは、こまめに換気をする ●換気が不十分な場合、酸素不足の原因になることがあります。
	ルーバーを無理やり動かしたり、無理な力を加えない ●破損の原因になります。  動かなくなったときは、それ以上動かさないでください。		異常な振動や異音がした場合は、使用を中止する ●部品の落下などによるけがの原因になります。
	特殊用途で使用しない ・食品の保存、動物飼育室、温室 ・精密機器、コンピュータールーム、医療品などの維持・管理・保存など ●品質低下や劣化、故障の原因になります。		本体を移動するときは、運転を停止し、必ずコンセントから電源プラグを抜いて内部の水を捨ててからおこなう ●床を汚す原因になります。また、ドレンタンクの中の水が本体内部に浸入し、感電の原因になります。
	エアフィルターを外したまま使用しない ●内部にホコリを吸い込み、故障の原因になります。		お手入れや点検の際は、必ずコンセントから電源プラグを抜く ●感電やけがの原因になります。



包装用ポリ袋は、お子様の手の届かない場所に保管してください。誤って顔にかぶさったり、巻き付いたりして窒息し、死亡の原因になります。

知っておいていただきたいこと

- 本製品は冷房機（セパレートエアコン）ではありません。簡易的な冷房としてご使用ください。
スポット冷房機のため、部屋全体を冷やすことはできません。
- 室温が約 16℃～34℃の範囲の環境でご使用ください。（6 ページ参照）
- 表示温度について
 - ・ディスプレイ表示される温度は、本体に内蔵されている温度センサーが感知する製品の周辺温度になります。
 - ・設置場所によっては、温度が正確に表示されない場合があります。
- 冷風運転時の設定温度について
周辺温度より低い温度に設定してください。高い温度に設定した場合は、冷風運転をしません。
ただし、ファンは連続運転し、送風運転を続けます。
（ご使用環境下の条件によっては、送風も停止する場合があります）
- 付属のダクトパネル・排気ダクトを使用せずに閉め切った部屋で運転しますと、室温が上がります。
コンプレッサーの保護機能が働き、冷風・ドライ運転ができないことがあります。
- 付属のダクトパネル・排気ダクトを使用して、排気の処理を適正におこないますと、経済的・効果的にご使用いただけます。
- 夏場は、ドレン水が溜まりやすいため、冷風・ドライ運転時は付属のドレンホースを使用することをおすすめします。
- 落雷などで停電した場合は、一旦運転を停止してコンセントから電源プラグを抜いてください。
再度使用するときは、5 分以上時間をおいてから使用してください。

次のような使用は 避けてください。

- ・部屋の湿度が 80%を超えた状態が続く場所
- ・ダクトパネルを使用している状態で、風雨の強いとき
- ・加工油や防錆油や有機溶剤を使用している場所
- ・火花が飛び散るような場所
- ・むやみにボタン操作を繰り返す行為 → 故障の原因になります。

次のような現象は製品の異常や故障ではありません

- 音がする（「シャンシャン」など）
 - 運転開始直後や停止直後に、ユニットの中を冷媒液が流れる音がすることがあります。
 - 運転開始時・停止時に、本体の熱膨張や熱収縮による音がすることがあります。
 - 運転中に、本体内部でドレン水を蒸発処理している音がすることがあります。
 - 本製品は、コンプレッサーが稼働すると、大きな音が鳴りますが故障ではありません。
- ニオイがする
 - 購入後しばらくは、ニオイがすることがありますが、使用を続けることで少なくなります。
また、ユニットに付いた部屋の芳香剤や化粧品、汗などのニオイがする場合もあります。
- 霧について
 - 冷風運転中にドレンホース付近から、霧(煙)のようなものが見えることがあります。
これは、吹き出した冷風で部屋の空気が冷やされて霧状に見えるためで、故障ではありません。
- 結露について
 - 部屋の湿度が80%以上あるときに、長時間にわたって冷風運転を続けると、ドレンホースの付近に結露が付き、落ちることがあります。
- アルミフィンについて
 - 熱交換器に使用しているアルミフィンは、銅管の溶接の際、熱により一部変色していますが、性能に影響はありません。

知っておいていただきたいこと

設置について

- 本製品の本体重量は約20kgです。平らで安定した、重量に十分耐える場所に設置する
また、2人以上で設置・移動をおこなう

※畳の上や、やわらかいフローリングの上など傷がついたり、設置跡が残る可能性のある場所には、設置しないでください。

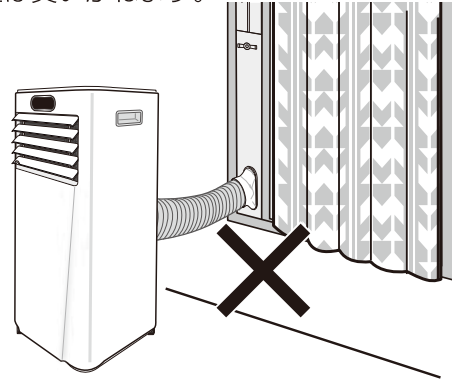
※設置場所には十分注意してください。設置跡に関しては弊社では責任は負いかねます。

- テレビやラジオなどの AV 機器から 2m 以上離す

→電波障害の原因になります。

- 使用の際は、吹出口・吸気口・給気口・排気口をふさがないように、壁面から60cm以上離し、周囲に障害物がないようにして設置する

→カーテンなどが吸気口に吸い付き、故障の原因になります。

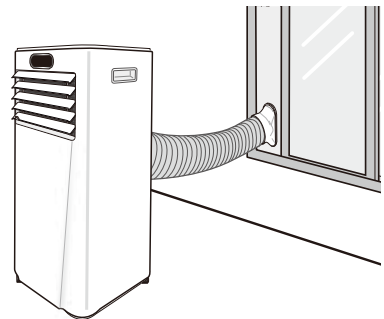
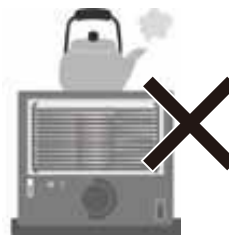


- 燃焼・発熱器具の周辺など熱気が当たる場所には設置しない

→燃焼器具の不完全燃焼、炎の立ち消え、引火などして火災や感電の原因になります。

→故障や変形のおそれがあります。

→冷風運転が正常に作動しない場合があります。



- 本体の上に物を置いたり、洗濯物を掛けたり、乗ったり、寄りかかったり、倒したり、強い衝撃を与えない

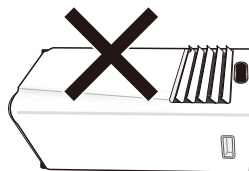
→けがや事故、破損・故障の原因になります。



- 本体を横倒しにしたり、横倒しにして設置や移動・保管しない

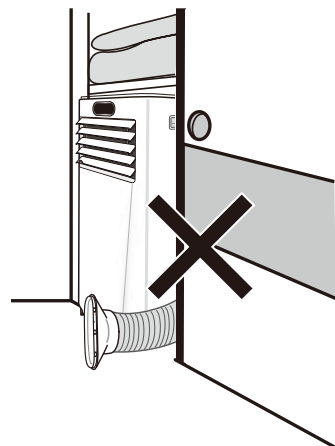
→けがや事故、故障の原因になります。

→コンプレッサーなどの内部不具合の原因になります。



- 押し入れや家具のすき間など、狭い場所に設置して使用しない

→発熱や発火、故障の原因になります。



コンプレッサの保護機能に関して

■室温が約 16℃～ 34℃の範囲の環境でご使用ください。

⇒ 以下の環境になると、保護機能が働き、「冷風 / ドライ ⇒ 送風」に運転が自動で切り替わります。

● 本体周辺の温度が 35℃以上、15℃以下のとき

● 冷却ユニットに霜が付いた場合

※ 本体内部の温度センサーと実際の室温に差が生じることがあります。

※ 使用温度範囲は、湿度によっても変わります。目安としてください。

※ ご使用環境下の条件によっては、送風も停止する場合があります。

冷風運転	15℃以下	16℃ ～ 34℃	35℃以上
ドライ運転	送風	冷風	送風

※ 冷風運転・ドライ運転中に本体の周辺温度が 35℃以上 15℃以下になり「冷風 / ドライ⇒送風」に切り替わった場合、製品の温度センサーが「16℃～34℃」感知後、自動で冷風運転またはドライ運転に切り替わります。

※ 周辺温度が 30℃以上の場合、周辺温度が 34℃以下でも、本体内部の温度センサーが 35℃以上と感知してコンプレッサの入切を繰り返す場合があります。(周辺温度と本体内部の温度には差があります)

密閉空間では、コンプレッサの入切を繰り返すことで次第に室温が下がり、連続して冷風運転がおこなわれるようになります。

※ 冷風運転・ドライ運転中に冷却ユニットに霜が発生した場合、「冷風 / ドライ ⇒ 送風」に自動で切り替わり、霜が溶けたあと、自動で冷風運転またはドライ運転に切り替わります。

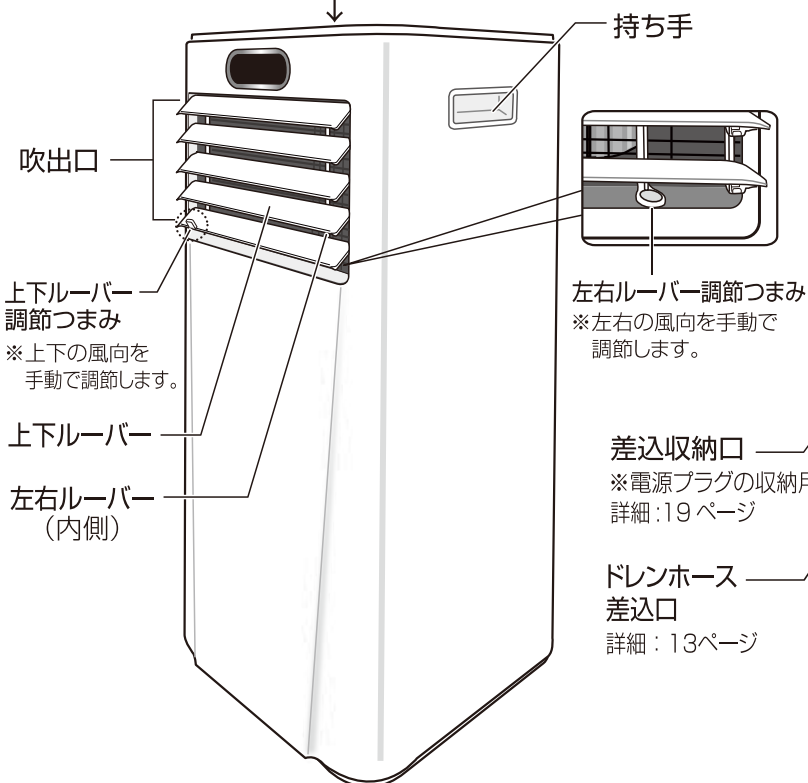
● モードを切り替えた際、数十秒から数分間コンプレッサの起動に時間がかかります。

● 電源を切った後すぐに再度電源を入れた場合でも、コンプレッサの起動に時間がかかります。

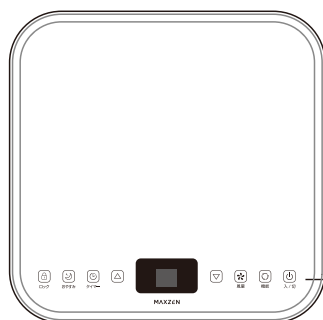
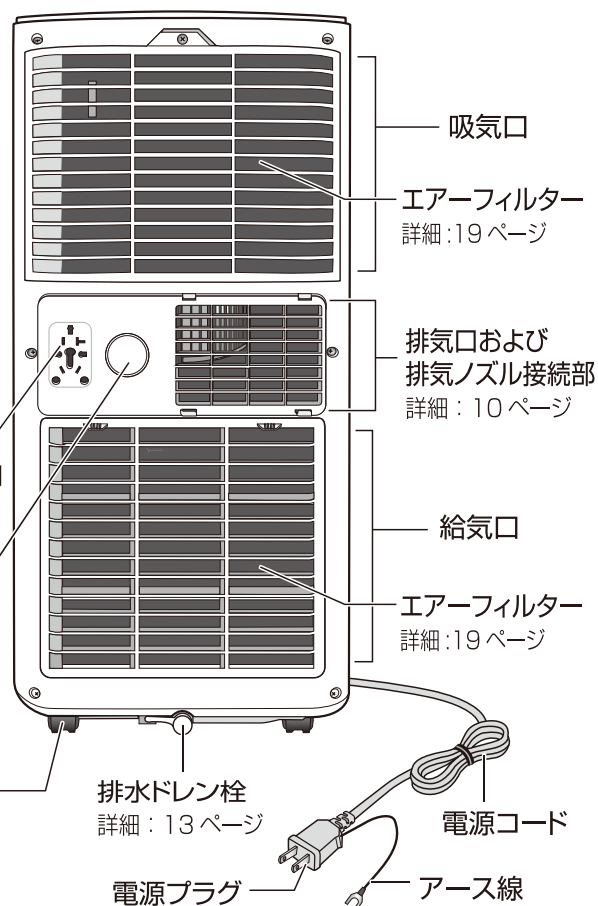
各部のなまえ

本体前面

操作パネル(下図)



本体背面



必ず正しくアース接続をおこなう

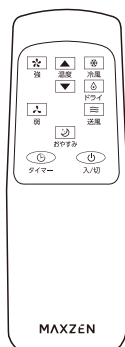
●接続しない場合や不完全な場合は、故障や漏電時に感電の原因になります。詳細:14ページ

電源コードは束ねたまま使用しない

●コードが熱くなり、故障の原因になります。

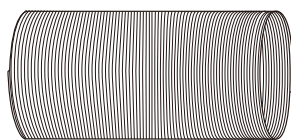
付属品

■リモコン 詳細:9ページ

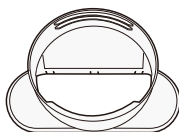


■排気ダクト 詳細:10ページ

サイズ:約(直径)15×(長さ)147cm



■ダクトエンド(ダクトパネル側)



■排気ノズル(本体側)



■ダクトパネル 詳細:11.12ページ

A	約(幅)11×(長さ)65cm
B	約(幅)10.5×(長さ)65cm
C	約(幅)11×(長さ)55cm
D	約(幅)10.5×(長さ)55cm

■ダクトパネル固定用ネジセット×3



■ドレンホース 詳細:13ページ

サイズ:約(内径)1.6×(長さ)150cm

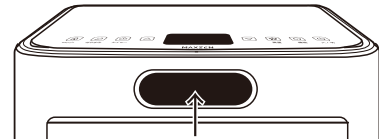
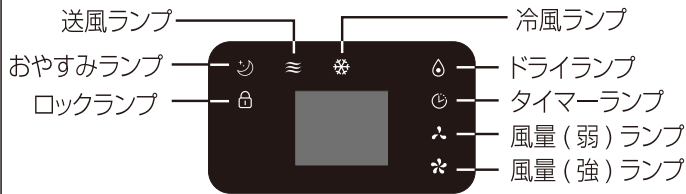


操作パネルについて（ボタン説明）

本体パネル

詳細:15.16.17 ページ

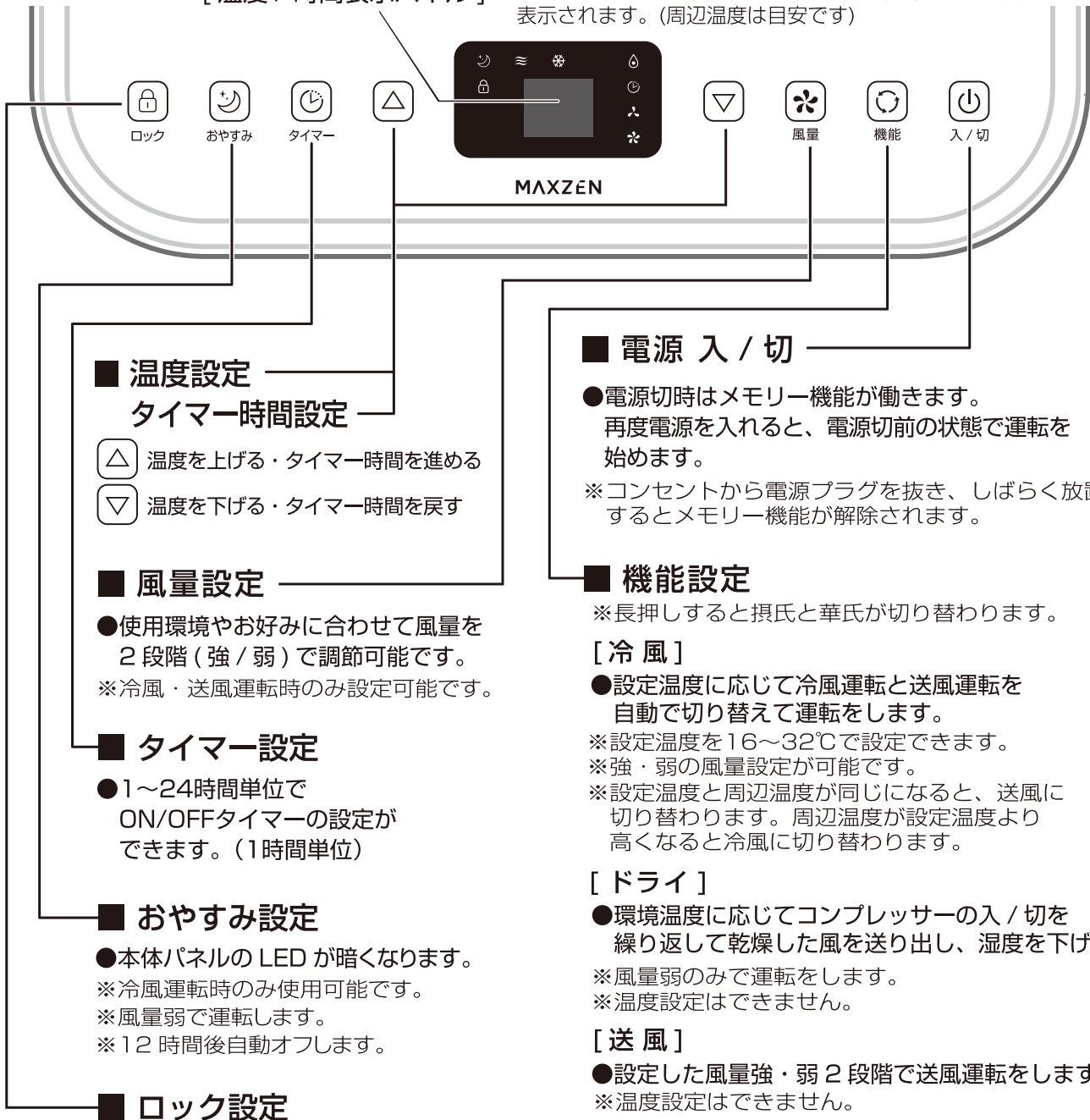
●操作ボタンを押すと液晶ランプが点灯します。



液晶パネル

- 温度・タイマー設定時に数字が表示されます。
※送風モード・除湿モードは周辺温度、冷風モードは設定温度が表示されます。※周辺温度は目安です。
- 冷風モード時に マークが表示されます。

[温度 / 時間表示パネル] ※送風・ドライ運転時は周辺温度、冷風運転時は設定温度が表示されます。(周辺温度は目安です)

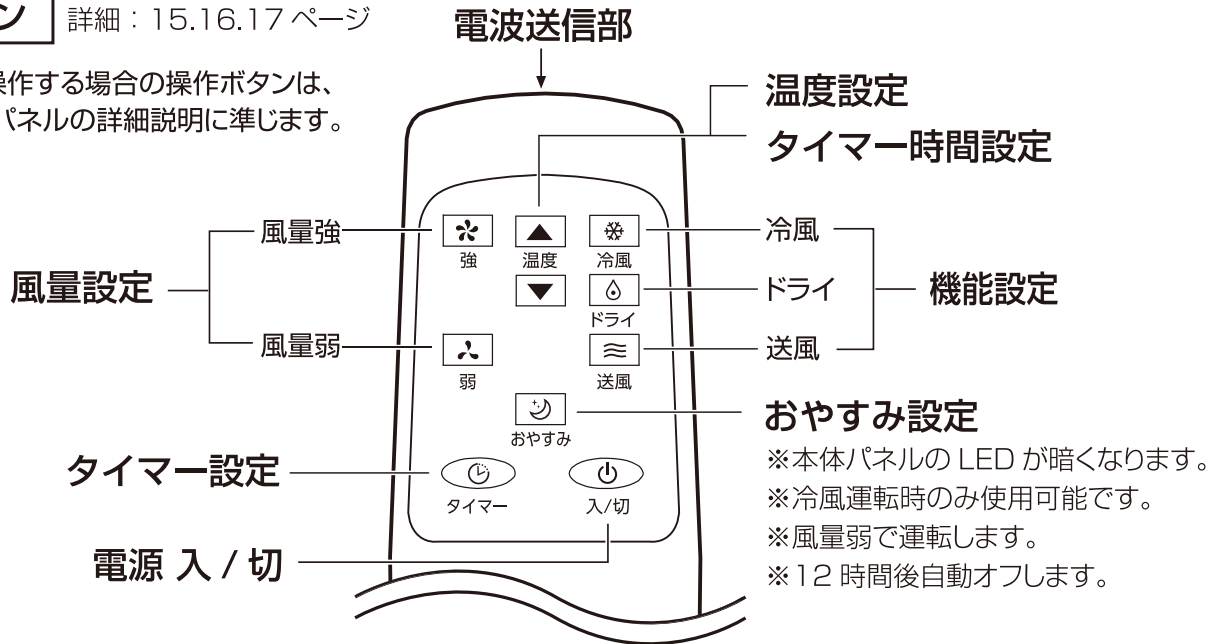


リモコンについて

リモコン

詳細：15.16.17 ページ

- リモコンで操作する場合の操作ボタンは、本体の操作パネルの詳細説明に準じます。



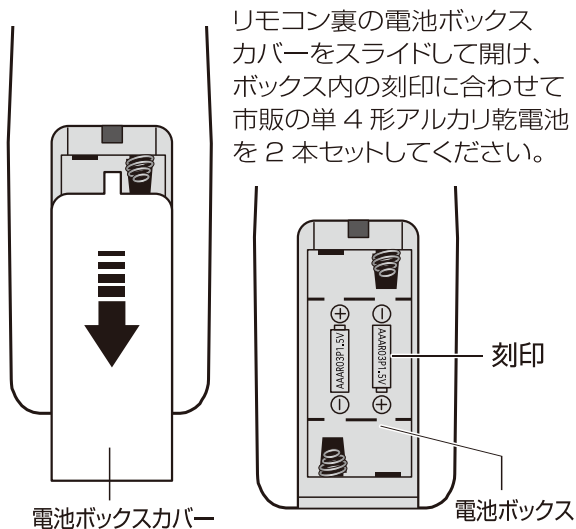
※リモコンを使って本体を操作するときは、送風口の上下ルーバーを開けてから送風口内部のリモコン電波受信部に向けて、操作ボタンを押してください。

リモコン電波受信部

■リモコン用電池のセット

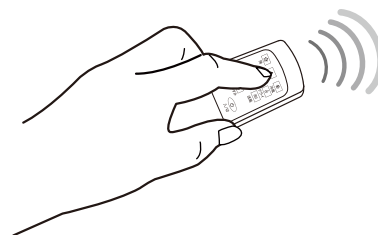
単4形アルカリ乾電池2本使用

※電池は付属していません。



- 電池の $\oplus$ $\ominus$ を正しくセットしてください。
- 古い電池と新しい電池や種類の違う電池を混ぜて使わないでください。
- 電池は、必ず2本一緒に交換してください。

長期間で使用にならない場合は、電池を取り出しておいてください。→電池が液漏れして故障の原因になります。



受信距離はリモコン電波受信部正面から約5m

【リモコン操作上のご注意】

■本製品をリモコンで操作する際、下記のような現象が発生する場合があります。

- 1.他社電化製品のリモコンで、本製品が反応する。
- 2.本製品のリモコンで、他社電化製品が反応する。

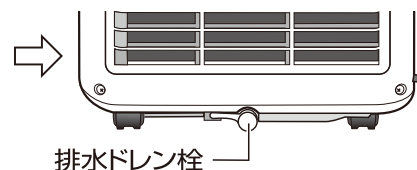
これはリモコン(赤外線)の周波数が、他社電化製品のリモコンの周波数と重なってしまうことで発生する現象で、製品機能上は問題はありません。誤作動を避けるため、他社電化製品のリモコンが反応しない範囲(本体の向きと距離)でご使用ください。

ご使用前に

お願い

製品到着後は必ず、3時間以上置いてから使用してください。→ 運送中にコンプレッサー内の冷媒オイルが別の場所に流れ込み、コンプレッサー内の冷媒オイルが不足して正常に動作しないことがあります。

本体背面の排水ドレン栓が確実に差し込まれていることを確認してください。→ 確実に差し込まれていないと、水漏れの原因になります。



排気ダクトを取り付ける

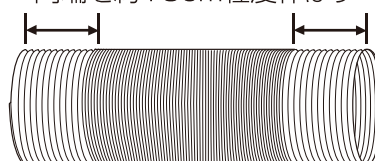


必ず守る

排気ダクトは、本体の排気口に取り付けて使用します。取り付けずに使用すると排気の一部が給気に戻り、能力が低下する（室温が上昇する）ことがあります。室温の上昇を抑え、効果的に使用するため、冷風モード・ドライモードを使用する際は必ず排熱処理をしてください。付属の排気ダクト以外を使用したり、排気ダクトを連結するなどして長さを延長しないでください。

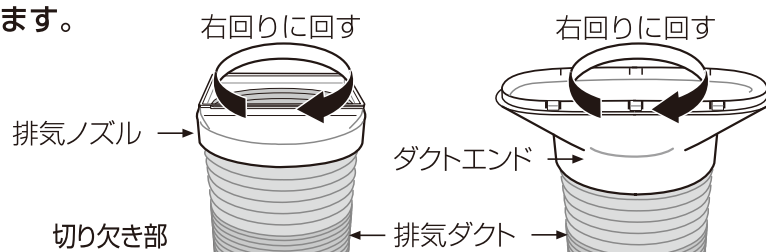
① 排気ダクトの両端を約 10cm 程度伸ばします。

両端を約 10cm 程度伸ばす



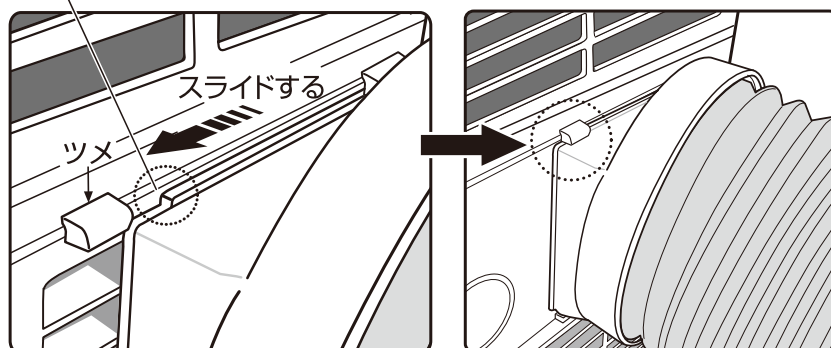
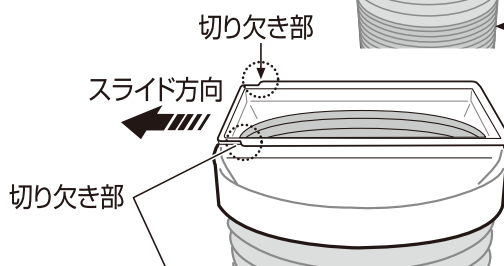
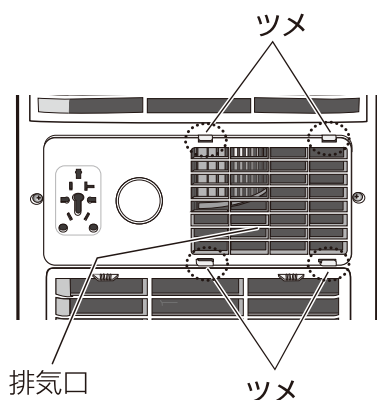
② 排気ノズルとダクトエンドを、排気ダクトの伸ばした両端にセットし、両方がある程度固定されるまで右回りに回してセットします。

排気ノズル・ダクトエンドを左回りに回すと、排気ダクトから外すことができます。



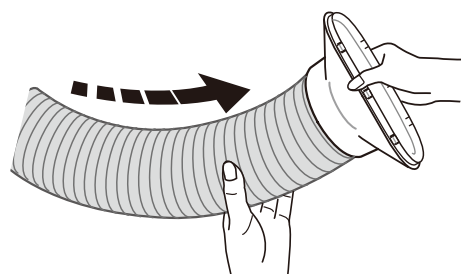
③ 本体の排気口の上下のツメに排気ノズルの切り欠き部を差し込み、止まるところまで左にスライドします。

※ カチッと音がするまで確実にセットします。



④ 排気ダクトを適当な長さに伸ばします。

【注】 排気ダクトを伸ばすときは、取り付けたダクトエンドや排気ノズルが排気ダクトから外れないように、注意しながらおこなってください。



ダクトパネルの設置



注意

- ダクトパネルの重量に耐える場所に設置してください。
- ダクトパネル設置にあたり、雨どいの真下は避け、吹き下ろしなどで雨水が浸入しない場所を選んでください。
- 台風など雨や風が強いときは、使用を中止してダクトパネルを取り外してください。
- 不安定な場所に設置しないでください。運転時の振動による騒音が発生し、近隣に迷惑になるおそれがあります。

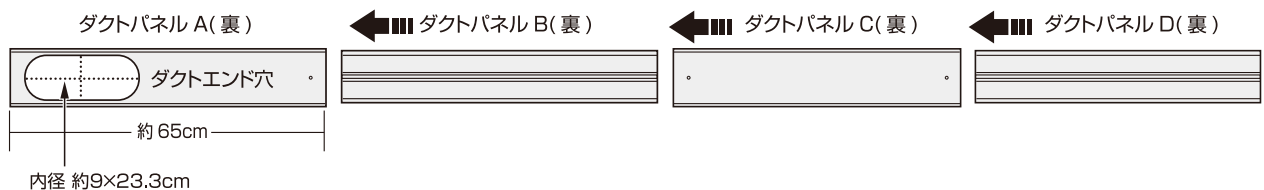
■設置可能な窓枠高さについて

A 約 65cm / B 約 65cm / C 約 55cm / D 約 55cm

A+B 約 91cm～125cm

A+B+C 約 120～171cm

A+B+C+D 約 147～226cm

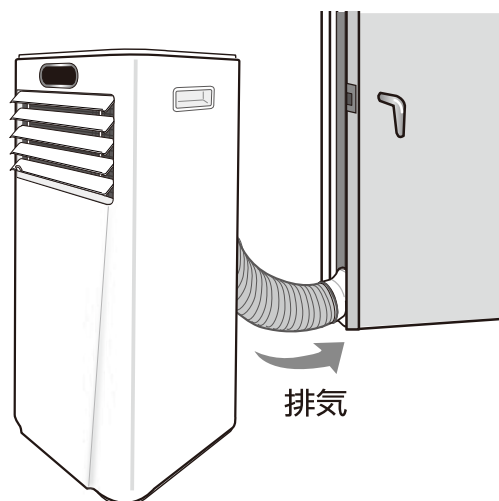


ダクトパネルが設置できない場合

- ダクトパネルの設置が難しいドアや窓の場合は、以下の方法をおこなってください。
 - 排気ダクトの先端部の「ダクトエンド」を、ドアを開けた所に挟み排気を外部に出します。
- 【注】 付属の排気ダクトを使用せずに閉め切った部屋で運転しますと、室温が上がります。



注意

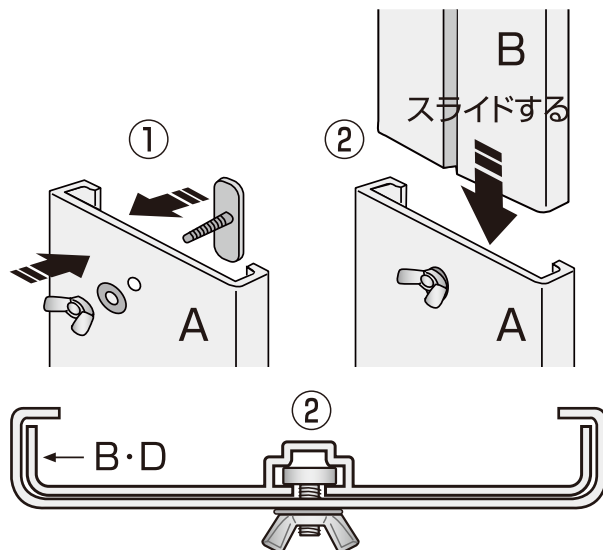


■ダクトパネルを組み立てる

①ダクトパネル A のネジ穴の裏側から T 型ネジを差し込み、ワッシャーと蝶型ナットをセットしたら蝶型ナットを 2 周ほど回して軽く止めておきます。

②ダクトパネル B の中央の凸溝に T 型ネジを縦にして差し込み、ダクトパネル A にスライドして重ね、蝶型ナットで仮おさえておきます。

※設置する窓の高さに合わせてダクトパネル C・D を追加します。

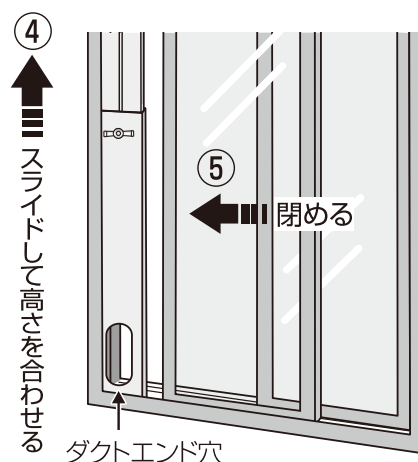


■ダクトパネルを設置する

③ダクトパネルの表側を室内側にして、窓枠（または戸枠）のサッシの戸袋に差し込みます。

④ダクトパネル B・C・D を窓の高さまでスライドして合わせたら、蝶型ナットを回してしっかり固定します。

⑤窓を閉めます。



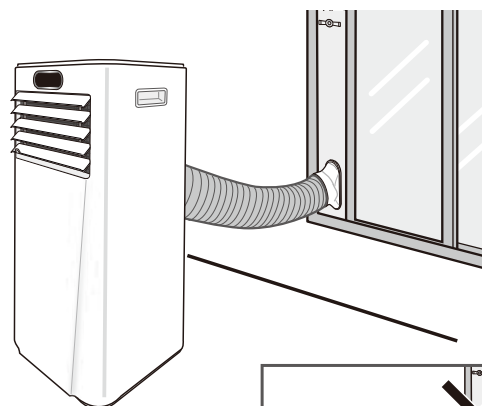
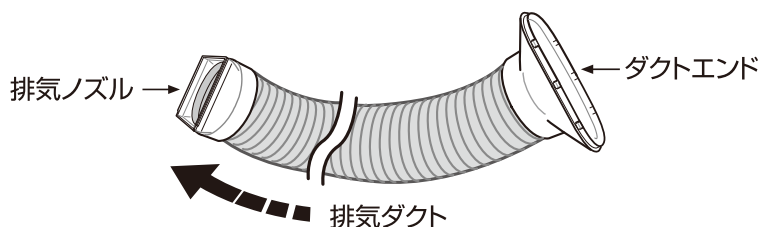
お願い

- 窓サッシとダクトパネルのすき間は必ず市販のスポンジシールなどで調整してください。
 - ダクトパネルを設置した際は、必ず市販の窓サッシ固定用の鍵で窓を施錠してください。
- ※窓サッシ固定用の鍵とスポンジシールは付属していません。必ず別途市販のものをご用意ください。

⑥ダクトパネル A のダクトエンド穴に、排気ダクトのダクトエンドをはめ込みます。

※ダクトエンドを穴に合わせ、上から軽く押すとカチッとハマります。

⑦本体を近くに設置し、排気ダクトの長さを調整したら、排気ノズルを本体背面にスライドしてはめ込みます。(10 ページ参照)



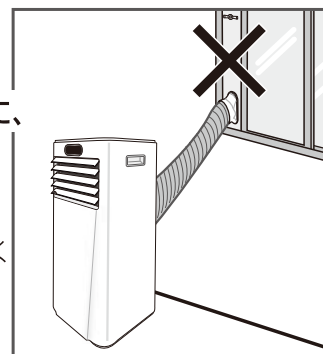
⚠ 注意

排気ダクトを伸ばすときは、取り付けたダクトエンドや排気ノズルが排気ダクトから外れないように、注意しながらおこなってください。

■ダクトパネルからダクトエンドを取り外すときは「お手入れのしかた」(18 ページ) を参照してください。

■排気ダクトを設置する際に、角度をつけすぎないでください。

※排気ダクトの角度が急な場合は廃棄が逆流し、冷房能力が著しく低下、または冷風が出なくなるおそれがあります。



ドレン水を排水する

この製品はノンドレン構造ですが、湿度の高い場所で使用するとドレン水がたまり、満水のエラー表示がでます。その際は、下記の方法でドレン水の排水をしてください。
※ノンドレン構造とは、運転時に発生したドレン水を蒸発させて、排気と一緒に排出するものです。

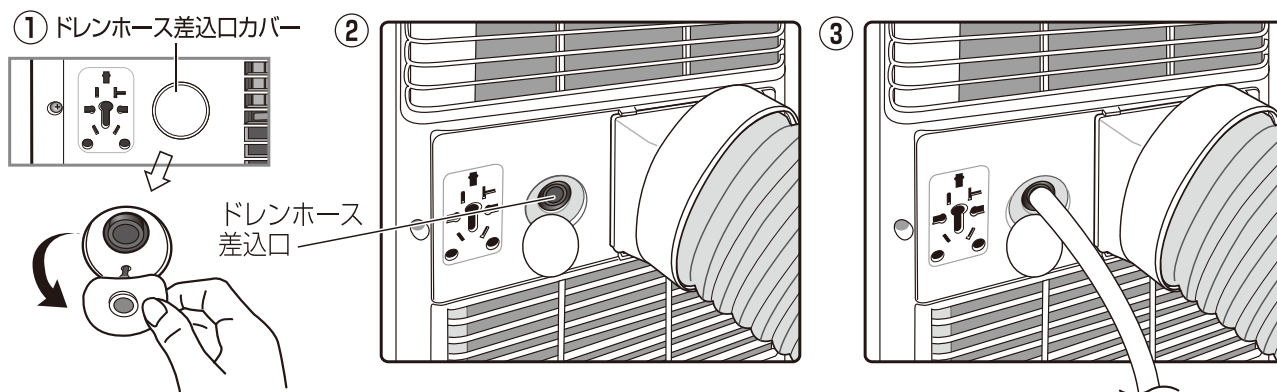
ドレンホースを取り付けて排水する ※ドレン水をためる容器をご用意ください。

●冷風・ドライ運転時に連続排水するときに使用します。

- ①本体背面のドレンホース差込口カバーを下方に引いて開け、半回転して表側を出し、ドレンホース差込口カバーを②図の状態にします。

【注】ドレンホース差込口カバーは、冷風・ドライ運転時の連続排水時以外は外さない → 水漏れの原因になります。

- ②ドレンホース差込口に付属のドレンホースをしっかり差し込み、
③ドレンホースの先をドレン水をためる容器に差し込みます。



注意

ドレン水をためる容器の水量をこまめに確認する
→ 容器からあふれて床を濡らす原因になります。

ドレンホースは必ずドレンホース差込口より低い位置に向けて排水してください。→ 排水できずに水漏れの原因になります。

ドレンホースの折れ曲がりや落差に注意し、ドレンホースの先がドレン水を受けている容器に浸からないようにする



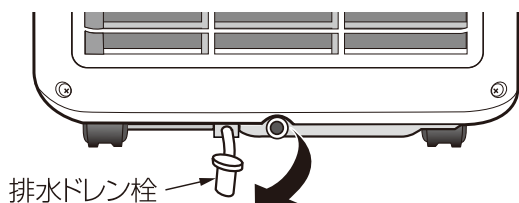
下部排水口から排水する

●ドレンホースを取り付けずに運転し、ドレン水満水のお知らせがあったときにおこないます。(満水量：約 600ml)

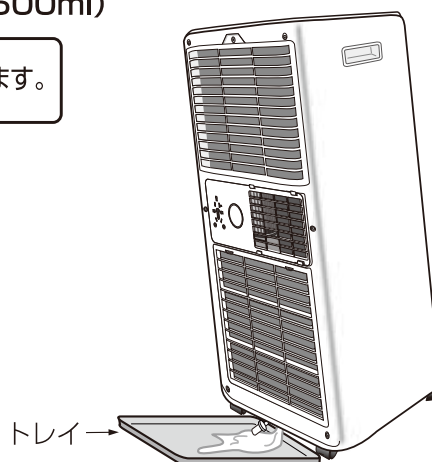
本体表示パネルに **F.L** が表示され、警告音が鳴り運転を停止します。

●本体下部の排水ドレン部に薄いトレイなどを差し込み、排水ドレン栓を外して本体を傾けて排水します。

※トレイが溢れないように数回に分けて排水してください。



※排水ドレン栓を開けたときに、中に残っている水がこぼれるおそれがあります。



※トレイは付属していません。別途でご用意ください。

アース線について

アース線の接続



アース線接続

ご使用の前に、正しくアース線の接続をおこなってください。

→接続しない場合や不完全な場合は、故障や漏電時に感電の原因になります。

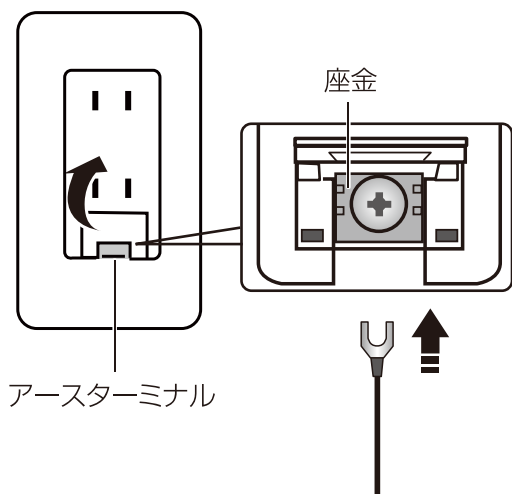
【注】アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線などに接続しない

■漏電遮断機、アース端子が付いていないコンセントの場合

- アース端子を増設する工事は「D種接地工事」と呼ばれ、有資格者でなければ施工できない工事にあたります。

【注】アース端子の増設は専門業者の電気工事の資格を持つ方へ依頼してください。

1 アース線を接続します。



①コンセントの「アースターミナル」の蓋を開けます。

→中にネジ、その下に座金があります。

②プラスドライバーでネジを反時計回りに回して緩めます。
ネジを緩めるとその下にある座金と一緒に浮いてきます。

③座金の下にアース線の先端を潜り込ませます。

④ネジを時計回りに回して締めて座金を固定していきます。
※ネジと座金を固定し終えたらアース線を手で引っ張ってみて線が抜けないか確認してください。

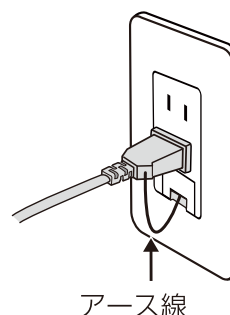
⑤蓋を元通りに閉じます。

2 コンセントに電源プラグを根元まで確実に差し込みます。

※アース線の接続が完了してから最後に電源プラグを差し込みます。

■アース線の効果

- ①漏電時の感電を防ぎます。
- ②余分な電気エネルギーを地面に逃し、電気の流れを安定させることで家電の動作に影響を与えるノイズを軽減します。
- ③電磁波を軽減します。



運転をする



必ず守る

交流100V 15A以上のコンセントを単独で使用してください。

電源ボタンを押す前に手動で [左右ルーバー] [上下ルーバー] の角度を決めてください。(7ページ参照)

むやみにボタン操作を繰り返す行為はしないでください。→ 故障の原因になります。



警告

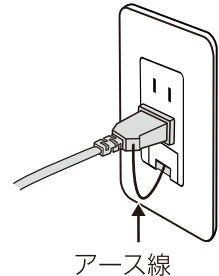
ぬれた手で操作しない → 感電やけがのおそれがあります。

■ コンセントにアース線の接続をし、電源プラグを確実に差し込む

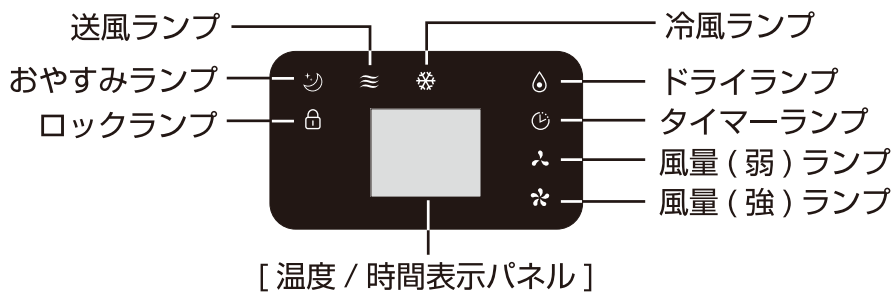
※アース線の接続については14ページ参照

※通電し、待機状態になります。

※リモコンを使用する際は、リモコンの電波送信部を本体の電波受信部に向けて操作してください。



● 操作ボタンを押すごとに「ピッ」と鳴り、液晶ランプ(下図)が点灯します。



■ 電源入/切

本体



入/切

電源入/切ボタンを押すと運転を開始します。

※電源を入れると「送風」「弱」(初期設定)で運転を開始します。

リモコン



入/切

■ 風量設定 (運転している状態で押します) ※ドライ運転、おやすみ設定の場合は使用できません。

本体



風量

風量ボタンを押すごとに[弱] → [強]の順番で風量ランプが点灯し、風量が切り替わります。

お好みに合わせて風量ボタン[弱]あるいは[強]を押して、風量を切り替えます。

リモコン



弱

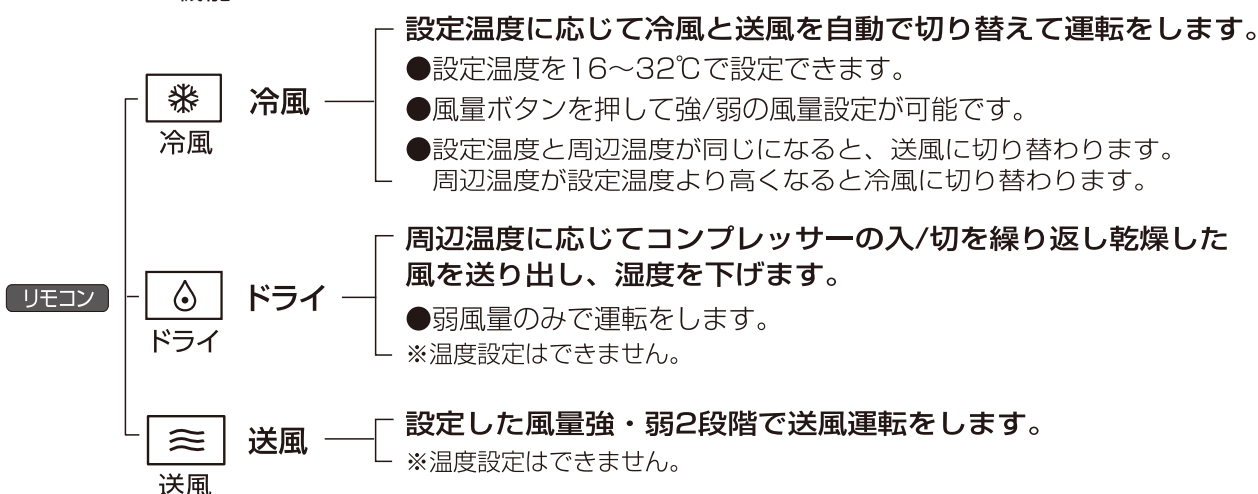
強

■ 機能設定 (運転している状態で押します)

冷風モード・ドライモードは室温が約 16℃～34℃の範囲の環境でのみコンプレッサーが作動します。(詳細: 6 ページ参照)



機能ボタンを押すごとに [冷風 ❄] → [ドライ 💧] → [送風 ≡] の順番で液晶ランプが点灯し、機能が切り替わります。



■ タイマー設定



タイマー設定ボタンを押し、1～24時間のON/OFFタイマーの設定ができます。(1時間単位)

※タイマー設定時に数字が表示され、点滅後に設定完了(点滅中は設定変更可能)

[OFFタイマーを設定する] ⇨ (運転している状態で押します)

● 運転状態でタイマーボタンを押し [▽] [△] ボタンで OFF タイマー時間を設定する → タイマーランプ ⌚ が点灯します。

※ 設定完了後、送風運転・ドライ運転は周辺温度、冷風運転は設定温度が液晶パネルに表示されます。

※ タイマー時間を 0 にするか、電源 OFF にするとタイマーはリセットされます。

[ONタイマーを設定する] ⇨ (待機している状態で押します)

● 待機状態でタイマーボタンを押し [▽] [△] ボタンで ON タイマー時間を設定する

● 風量ボタン・機能ボタンを押してお好みの設定をする

→ 設定したタイマー時間が液晶パネルに表示され、タイマーランプ ⌚ と設定した風量 (🌀 or ❄) ランプ・機能ランプ (❄ or 💧 or ≡) が点灯します。

※ 冷風運転の温度設定は、電源 OFF 時に設定されていた温度が引き継がれます。

※ タイマー時間を 0 にするか、電源 ON にするとタイマーはリセットされます。

- **温度設定** (運転している状態で押します) ※ドライ運転 / 送風運転の場合は使えません。
※実際に出ている風の温度を設定する機能ではありません。周辺の目標温度を設定する機能になります。



冷風運転中にお好みに合わせて [▽]・[△] ボタンを押して温度を設定します。ボタンを押すごとに、1℃単位で下がる、あるいは上がります。(16～32℃)



- 温度設定時に液晶画面に数字が表示され、点滅後に設定が完了します。(点滅中も設定変更可能)
- 設定完了後、液晶画面に設定温度が表示されます。

- **おやすみ設定** (運転している状態で押します) ※冷風運転でのみ使用できます。

- 弱風量のみで運転をします。

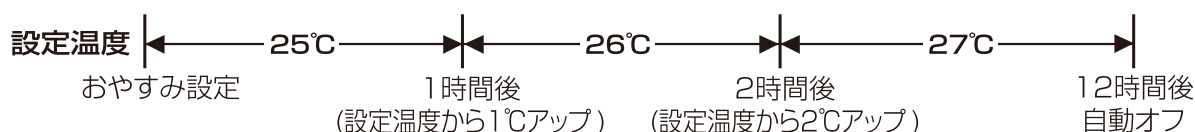


おやすみボタンを押すと本体パネルのLEDが暗くなり、設定後約1時間経つと設定温度から1℃アップし、更に1時間後設定温度からもう1℃アップします。その後は設定温度から2℃アップした温度で運転を続け、12時間後自動オフになります。(図1参照)

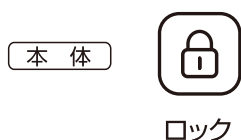


[図1]

例) 設定温度が25℃でおやすみ設定をしたとき



- **ロック設定** (本体の操作ボタンで設定します)



ロックボタンを長押し(約3秒)するとボタン操作をロックします。再度長押し(約3秒)でロックを解除します。
※ロック中は本体パネル・リモコン操作ができません



必ず守る

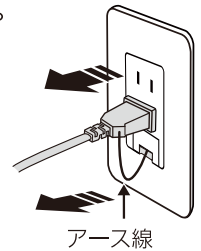
使用後は、電源入/切ボタンを押して電源を切り、アース線に注意してコンセントから電源プラグを抜く ●電源ランプが消灯します。

お手入れのしかた

- 必ず電源を切り、コンセントから電源プラグ・アース線を抜いてからおこなってください。
- お手入れは2週間に1回以上おこなってください。
- エアフィルターにホコリが溜まると、冷風効果（冷房効果）が弱くなります。



- 本体やリモコンは、水をかけたり、水に浸けたり、丸洗いは絶対にしない → 内部に水が入り、故障の原因になります。
- みがき粉・ベンジン・シンナー・アルコール・漂白剤・化学ぞうきん・金属たわし・硬いたわしなどは使わない → 変色や変形の原因になります。
- 40℃以上のお湯は使わない → 変形の原因になります。



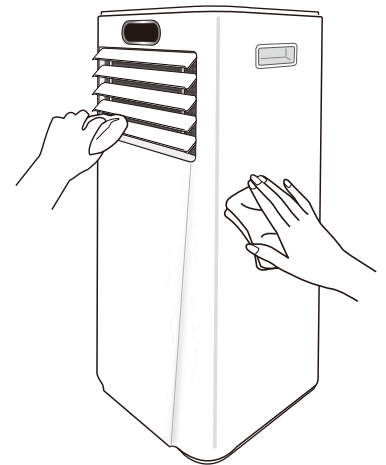
本 体

水洗いはできません

- 乾いた柔らかい布で軽く拭きます。

汚れのはげしい場合は、柔らかい布に中性洗剤を薄めた水を付けて、汚れを拭き取ってください。その後、洗剤や水分が残らないようにきれいに拭いてください。

※長期間使用しない場合は、必ず本体を軽く傾けて排水口およびドレンホース差込口からドレン水を抜いたあと、送風運転で半日程度運転して内部を乾かします。
→上記をおこなわないと内部にカビが発生する原因になります。

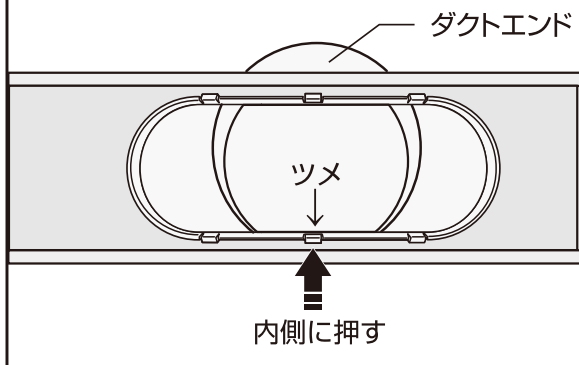


排気ダクト・排気ノズル・ダクトエンド・ダクトパネルA/B/C/D・ドレンホース

水洗いできます

ダクトパネルからダクトエンドを外します。

ダクトパネルを裏返し、ダクトエンド穴に固定しているダクトエンドのツメを中央に向けて押すと、ダクトエンドが外れます。

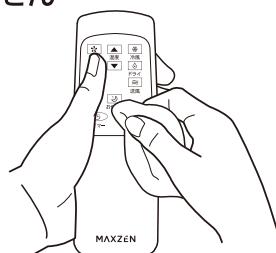


- 長期間収納するときにそれぞれを分解して、洗ってください。
洗った後は、水気が残らないように十分乾燥させてください。

リモコン

水洗いはできません

- 表面の汚れやホコリを乾いた布で拭き取ります。



電源プラグ

水洗いはできません

- ゴミやホコリは定期的に乾いた布で拭き取ります。



※長期間ご使用にならない場合は、電池を取り出しておいてください。

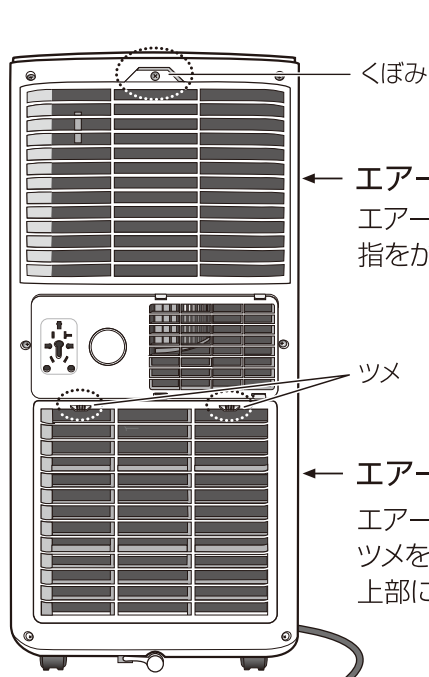
エアフィルター（吸気口・給気口）

水洗いできます

■お手入れは2週間に1回以上おこなってください。

●本体背面から取り外して、掃除機のブラシなどでホコリを取り除きます。

汚れのはげしい場合は、柔らかい布に中性洗剤を薄めた水を付けて、汚れを拭き取るか、ぬるま湯と柔らかいスポンジで洗ってください。洗ったあとは、十分乾燥させてください。

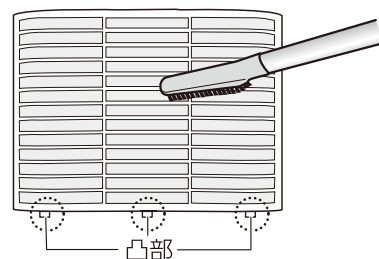


くぼみ

← エアフィルター（吸気口）
エアフィルターの上部のくぼみに
指をかけて手前に引いて外します。

ツメ

← エアフィルター（給気口）
エアフィルターの上部2か所の
ツメを持って手前に引きながら
上部に持ち上げて外します。

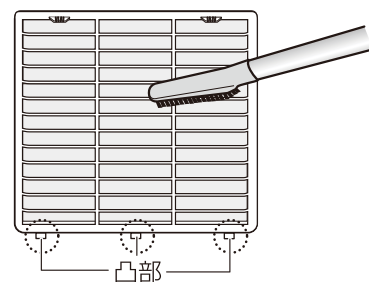


凸部



注意

本体内部の熱交換器に手を触れない
→ 鋭利なため、けがのおそれがあります。



凸部

■エアフィルターの取り付け方

●吸気口・給気口それぞれの下部3か所の凹部に、エアフィルターの3個の凸部を差し込み、本体側に押してカチッと音をさせて確実にセットします。



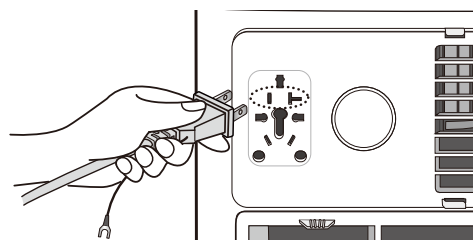
禁止

エアフィルターを外したまま使用しない

→ 内部にホコリを吸い込み、故障の原因になります。

■電源プラグの収納

●本体裏の「差込収納口」に、電源プラグと形が一致する場所に差し込みます。



必ずやる

【保管のしかた】

- 長期間保管される場合は、本体の汚れをしっかりと拭き取り、水気が残らないように十分乾燥させてください。
- 必ず本体を軽く傾けて、本体下部の排水口およびドレンホース差込口から内部の水を抜いてください。
- 晴れている日に半日程度「送風」運転をして機器の内部を乾燥させてください。
- 排気ダクトを取り外し、本体を袋に入れ、購入時に入っていた箱などに入れて、必ず製品を立てた状態にして直射日光の当たらない、高温多湿を避けた結露しない場所で保管してください。
- リモコンの電池は取り出しておいてください。

故障かな？と思ったら

●修理を依頼される前に、再度取扱説明書をお読みになり次の事項をチェックしてください。



警告

お客様ご自身で修理、改造することは絶対にしないでください。

症 状	対処方法
電源が入らない 運転が始まらない	●コンセントに電源プラグが確実に差し込まれていますか？ → 電源プラグを根元まで確実に差し込んでください。 ●電源が ON になっていますか？ → 電源入 / 切ボタンを押して電源を ON にしてください。(15 ページ参照) ●ドレン水がたまっていますか？ → 容器を用意して排水してください。(13 ページ参照)
冷え方が弱い (冷風・ドライ運転時)	●エアーフィルターがホコリで汚れていませんか？ → エアーフィルターのほこりを掃除機のブラシなどを使って掃除してください。 2週間に1回は掃除をしてください。洗える場合は洗ってください。(19ページ参照) ●窓や戸が開いていませんか？ → 窓や戸を閉めてください。直射日光が当たる場合は、カーテンやブラインドでさえぎってください。 ●部屋の中に熱源になっているものはありませんか？ → 室内にはできるだけ熱源になるものを置かないでください。 ●付属品以外の排気ダクトを使用したり、排気ダクトを連結するなどして長さを延長していませんか？ → 排気ダクトは必ず付属品を単独で使用してください。付属品以外の排気ダクトを使用したり、排気ダクトを連結するなどして長さを延長すると排気熱が排気ダクト内に留まり、正常な排熱処理ができず、コンプレッサーの保護機能が作動します。(6ページ参照) ●延長コードを使用していませんか？ → 延長コードは断面積が 2.0mm² 以上のものを 8m 以内で使用してください。 ●排気ダクトを急な角度で設置していませんか？ (12 ページ参照) → 排気熱が排気ダクト内にたまり、正常な排気処理ができず、コンプレッサーの保護機能が作動します。
冷風が出ない (冷風運転時)	●コンプレッサーの保護機能が働いていませんか？ → 6 ページ参照
送風が停止する (冷風・ドライ運転時)	●コンプレッサーの保護機能が働いていませんか？ → 6 ページ参照
室温や設定温度以外の数字が表示される	●華氏表示になっていませんか？ → 本体の機能ボタンを長押しして摂氏表示に戻してください。
ブレーカーが落ちる	●本体を横に寝かせませんでしたか？ → 24時間以上縦置き(正常位置)の状態置いてから再度運転をおこなってください。 ※運送会社によっては、配送時に横積みをしている場合があります。 ●建物内の同コンセントの回路内で、消費電力の大きい製品を使用していますか？ → 異なる場所のコンセントでも、同コンセント回路内で消費電力の大きい製品を使用しているとブレーカーが落ちます。
「シャンシャン」などの音がする	●作動音であり異常ではありません。→ 4ページ参照

エラー表記について

E0	基盤の通信不良・警告音が鳴ります。 →お買い上げの販売店もしくは、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。
E1	周辺温度センサーの故障・警告音が鳴ります。 数秒後にファンが運転停止します。 →お買い上げの販売店もしくは、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。
E2	蒸発器、凝縮器のセンサー故障・警告音が鳴ります。 数秒後にファンが運転停止します。 →お買い上げの販売店もしくは、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。
Ft	満水のお知らせ・警告音が鳴ります。数秒後に送風運転に切り替わります。 →電源を切り、本体背面の下部にある排水ドレン栓を抜いて、ドレン水を捨ててください。(13ページ参照) ●頻繁に満水表示がでる場合は、ドレンホースを取り付けて連続排水してください。 →連続排水中にドレンホースが折れたり曲がっていないか、確認してください。
※どのエラー表記もいずれかのボタンを押すと音は止まります。	

知っておいていただきたいこと

※4.5 ページ：「知っておいていただきたいこと」にさらに詳しく記載しております。あわせてご参照ください。

- 本製品は冷房機（セパレートエアコン）ではありません。簡易的な冷房としてご使用ください。
- 付属のダクトパネル・排気ダクトを使用して、排気の処理を適正におこないますと、経済的・効果的にご使用いただけます。
- 落雷などで停電した場合は、一旦運転を停止してコンセントから電源プラグを抜いてください。再度使用するときは、5 分以上時間をおいてから使用してください。

故障ではありません

※4.5 ページ：「知っておいていただきたいこと」にさらに詳しく記載しております。あわせてご参照ください。

●コンプレッサーが入切を繰り返す

→室温が約16℃～34℃の範囲の環境でお使いください。
室温が30℃以上の場合、周辺温度が34℃以下でも本体内部の温度センサーが35℃以上と感知して、コンプレッサーの入切を繰り返す場合があります。密閉空間では、コンプレッサーの入切を繰り返すことで次第に室温が下がり連続して冷風運転がおこなわれるようになります。

●停止直後に再運転ができない

→運転を停止後、数分間は再運転を止めて内部の機器を守り、ヒューズ切れを防ぎます。

●運転音大きい

→本体を平らな所に設置しているか、排気ダクト・ダクトエンド・エアーフィルターが正しく取り付けられているかを確認してください。

●電源プラグが異常に熱い

→コンセントへの差し込みが確実におこなわれていない場合や、ガタついている場合は、異常に加熱します。別のコンセントに正しく差し込み直すか、工事業者に依頼してコンセントの交換をおこなってください。交換しても異常に加熱する場合は、お買い上げの販売店もしくは、弊社お客様サポートセンターにご相談ください。

※使用中に、電源プラグが多少熱を帯びることは異常ではありません。

運転中に、停電になったり、電源ボタンを押さずに電源プラグを抜いて運転停止した場合は、停電復旧後やコンセントに電源プラグを差し込んだ時点で、電源ボタンを押さなくても運転を再開します。
※故障の原因になりますので運転停止する場合は、必ず電源ボタンを押して電源を切り、ファンが停止してから電源プラグを抜いてください。

製品仕様

定 格 電 圧	AC100V
定 格 周 波 数	50/60Hz
定 格 消 費 電 力	50Hz：840W、60Hz：920W
電動機の定格消費電力	50Hz：680W、60Hz：730W
定 格 除 湿 能 力	50Hz：37L/日、60Hz：42L/日
運 転 電 流	50Hz：10.0A、60Hz：9.3A
電 流 ヒ ュ ー ズ	2A
冷 媒 の 種 類	HFC-R410A
冷 媒 封 入 量	285g
冷 房 能 力	50Hz：2.7KW、60Hz：2.9KW
本 体 重 量	約 21.3kg
本 体 サ イ ズ	約 (幅)31.6×(奥行)31.8×(高さ)69.6cm
電 源 コ ー ド 長 さ	約 1.8m
材 質	ABS 樹脂、アルミニウム、鉄
付 属 品	リモコン (単 4 形アルカリ乾電池 2 本使用 ※電池は付属していません) 排気ダクト × 1、ダクトエンド × 1、排気ノズル × 1、 ダクトパネルセット (ダクトパネル A/B/C/D 各 1 枚)、 ドレンホース × 1、ダクトパネル固定用ネジセット × 3
生 産 国	中国

※冷房能力および電気特性は、室温 27℃、相対湿度 60%の条件で運転したときの値です。

廃棄のしかた

- 自治体のゴミの廃棄方法に従って廃棄してください。
- 本製品は、特定家庭用機器再商品化法 (家電リサイクル法) の適用製品ではありません。
廃棄する場合は、フロン類の回収、運搬、廃棄の料金が必要になります。
使用者様ご自身の負担により専門の回収業者に委託し、適正に処理してください。
※フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。
※この製品を廃棄する場合には、フロン類の回収が必要になります。
※フロン類の種類および容量は、本製品の銘板に記載しています。

別売品

[オープン価格]

※別途送料がかかります。

- 排気ダクト
- ダクトエンド・排気ノズルセット
- ダクトパネルセット (A・B・C・D)
- ダクトパネル固定用ネジセット
- リモコン
- ドレンホース

●お求めは、下記《お客様サポートセンター》にお願い致します。

輸入元：MARUTAKA (株式会社 丸隆)

〒151-0073 東京都渋谷区笹塚 1-62-3

《お客様サポートセンター》TEL 0120-104-300

受付時間 10:00~17:00 (土・日・祝日を除く)

お問い合わせの際には、製品名・品番をお伝えください。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

● 本体への表示内容

経年劣化により危害が高まるおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務づけられた以下の内容の表示を本体におこなっています。



【製造年】 本体に西暦表示してあります。

【設計上の標準使用期間】 5 年

設計上の標準使用期間を超えて使用されますと経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

設計上の標準使用期間とは

※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用ができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、保証書に記載の無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

■ 標準的な使用条件 JIS C 9921-3 によります。

環境条件	電圧	AC100V
	周波数	50/60Hz
	冷風室内温度	27℃(乾球温度)
	冷風室内湿度	47%(湿球温度 19℃)
	設置条件	標準設置

負荷条件	住宅	木造平屋、南向き和室、居間
	部屋の広さ	製品能力に見合った広さの部屋(約 6 畳)

想定時間	1 年間の使用日数	東京モデル 冷風 6 月 2 日から 9 月 21 日までの 112 日間
	1 日の使用時間	冷風：9 時間 / 日
	1 年間の使用時間	冷風：1008 時間 / 年

● 製品は日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。FOR USE IN JAPAN ONLY.

長年ご使用のスポットエアクーラーの点検を！

こんな症状は
ありませんか？

- 電源コード、プラグが異常に熱い
- 電源コードに深い傷や変形がある
- 焦げくさいにおいがする
- 運転中に異常な音や振動がする
- 本体に触れるとビリビリ電気をを感じる
- その他異常や故障がある



左記のような症状のときは
使用を中止し、故障や事故
の防止のため必ず販売店に
点検をご相談ください。